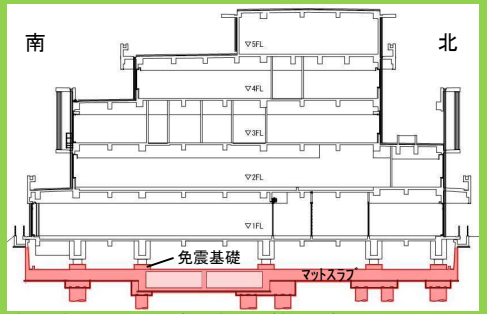
新庁舎建設だより
～八女市新庁舎建設工事～

2022年11月 No.9
発行：八女市企画部
新庁舎建設課

工事の進捗状況

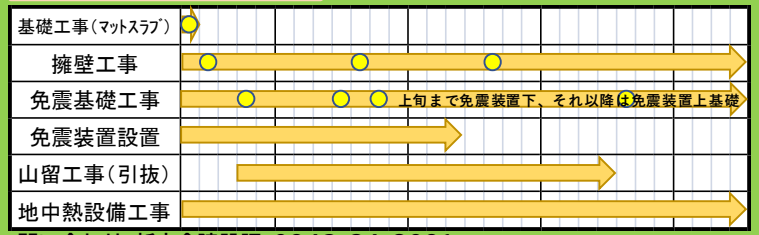
9工区に分けて実施した基礎のﾏｯﾄｽﾗﾌﾞのｺﾝｸﾘｰﾄ打設が11月1日に完了しました。免震装置が設置される部分の基礎も併せて施工を進めてきており、11月は免震装置を設置した後、上部の基礎工事に入っていきます。



新庁舎断面図（※赤い部分が施工済み）

11月の工事予定

※○：ｺﾝｸﾘｰﾄ打設日（予定）

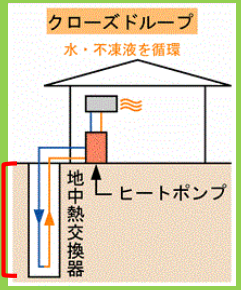


問い合わせ：新庁舎建設課：0943-24-8091
工事現場事務所：0943-24-8650（施工業者：東急・ｲﾉｳｴﾊｳｼﾞﾝｸﾞJV）

◆地中熱設備工事

地中の温度は年間を通して平均で15～20℃と季節に関わらずほぼ安定していて、夏は外気温より冷たく、冬は外気温より暖かい性質を持っています。新庁舎ではこの安定した熱源を空調設備に利用します。（ｸﾛｰｽﾞﾄﾞﾙｰﾌﾟ方式）

通常の空気熱源の空調では、屋外の空気を熱源にしているために、夏は35℃を超えるような暑い外気から温度を下げ、冬は5℃くらいの冷たい空気から温度を上げなければいけませんが、地中熱を利用した空調では、外気温に比べ夏は15～20℃低く、冬は10～15℃高い安定した地中熱を利用することで、同じ温度の熱を作り出すのに少ない電力で済み、節電が可能になります。



地中熱利用促進協会HPより

今回の工事では、直径約20cm、深さ約100ｍの穴を5m間隔で65ヶ所掘り、地中熱交換器（Uﾁｭｰﾌﾞ×2）を入れる計画で、現在54ヶ所の施工が完了しています。地下から上がってくるUﾁｭｰﾌﾞを配管で接続し、一か所に集約し、新庁舎へ循環させていきます。